

— 秋季特別展 —



第48回

江戸のMODE

浮世絵美人の総合ファッションガイド

— ゴッホに愛された日本の女性 —

豪華な着物を身に纏い、髪を大きく結った花魁。頭には笄と呼ばれる棒を横に差し、前方に櫛を二つ、そして前方、後方、正面あわせて15本もの簪をさしています。髪飾りはすべて高価な籠甲斐。裃の背には暗黒の空にとごろを巻くような雲と吠えるような龍が描かれ、その大胆でゴージャスな模様を見せつけるように振り返るポーズをとっています。

「雲龍裃の花魁」は、絵師溪斎英泉（1791-1848）が19世紀前半に作成した浮世絵です。この絵は、1886年5月にフランスで発行された「パリ・イリュストレ」というジャーナルの日本特集号の表紙を飾りました。当時ヨーロッパではジャポニスムがブームになっており、この特集号では日本の文化や歴史に関する記事が取り上げられ、英泉、北斎、歌麿の作品を含む多くの版画が掲載されました。

オランダの画家、ヴィンセント・ファン・ゴッホは表紙の花魁の絵に感銘を受け、1887年にこの絵を模写して「花魁」という油絵作品を制作します。透ける紙を使って鉛筆で丁寧にトレースし、二倍に拡大してキャンバスに写し取ったといわれますが、ジャーナルの表紙では図が反転して掲載されていたため、ゴッホの絵も実際の浮世絵とは左右の向きが逆になっています。「花魁」には、女性を囲むように蓮の浮かぶ池の風景が描かれ、その池では蛙や鶴が遊んでいます。ゴッホは明るい色調の浮世絵の世界に強いあこがれを抱いていたといわれますが、鮮やかな色彩のその絵は、ゴッホの理想郷であったに違いありません。

ゴッホはこの花魁をよほど気に入っていたらしく、同年に作成した画材商の「タンギー爺さん」の肖像画の背景にもこの女性を描いています。

今月18日より始まる「江戸のMODE—浮世絵美人の総合ファッションガイド—」では、「雲龍裃の花魁」をはじめとする浮世絵美人画を展示し、鎖国体制のもと独特のスタイルを築きあげた江戸時代の女性のファッションを概観していきます。

馬頭広重美術館
学芸員 長井裕子



「雲龍裃の花魁」
溪斎英泉

千葉市美術館蔵

【会 期】

前期 9月18日(金)
～10月18日(日)
後期 10月23日(金)
～11月23日(月祝)

【記念講演会】

前期 9月27日(日) 午後1時30分～
演題：「江戸のファッションリーダーたち」
講師：当館学芸員 長井裕子
後期 11月1日(日) 午後1時30分～
演題：「浮世絵美人画に見る流行の風俗」
講師：千葉市美術館学芸員 田辺昌子氏

【ミュージアムトーク（展示解説）】

前期 9月19日(土) 後期 10月24日(土)
当館学芸員 午後1時30分～

【休 館 日】 9月24日、28日、10月5日、13日、
19日～22日（展示替）

広報紙に広告を掲載しませんか？

掲載位置：各ページの下一段
サイズ：縦50mm×横88mm
料 金：2色刷 1回 5,000円～
カラー刷（裏表紙のみ）1回10,000円～
※複数月連続掲載の場合は割引あり
申込期限：掲載希望する月の初日の40日前
※9月24日までに申し込まれた場合、11月号から掲載可
※詳しくは企画財政課広報広聴係 ☎0287-92-1114
までお問い合わせください。

那須ナンバー開設記念月間
10月10日(土)～10月31日(土)
那珂川町にお住まいの方は、上記の期間
入国無料!
本人だけが1人で世界の分かる身分証明書をご用意下さい。
那須どうぶつ王国
TEL 0287-77-1110 平日10:00～16:30
那珂川町那須町大字1042-1 土曜9:30～17:00
http://www.nasudobutsukuni.com/ 定休日：休館日（連休を除く）